

経営情報 2020.5月

Monthly Report

よい朝のために。
KYORITSU
 HOTELS & DORMITORIES

(東証1部 コード9616)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「経営情報 Monthly Report」は、株主様をはじめとする弊社関係者の皆さまに、より弊社をご理解いただくとともに、皆さまのご意見を経営に反映させていただくことを目的として、発信させていただいております。

なお、2020年6月の経営情報は、8月7日に公表予定の「2021年3月期 第1四半期決算短信(連結)」にかえさせていただく予定です。

共立メンテナンスグループ

セグメント別(事業別) 売上状況

当月も新型コロナウイルスの影響を大きく受けておりますが、足元では、6月19日に政府が新型コロナウイルス対策として自粛を要請していた都道府県境をまたぐ移動を全面的に解禁した一方で、各都道府県でも様々な観光キャンペーンを実施するなど、国内需要が動き始め、当社ホテルの稼働率も上昇し始めております。また、政府による1.7兆円の予算が計上された大規模な『GO TO キャンペーン』のスタートも予定されており、全社を挙げて新型コロナウイルスの感染防止策を徹底したうえで、反転攻勢への歩みを早めております。

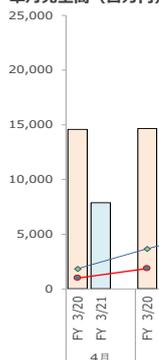
5月の状況ですが、寮事業は、留学生の訪日延期や、新入社員研修の中止によるご利用の減少などがあり、期初稼働率は93.7% (前期比5.0PP減)でのスタートとなり、前期から7%の減収となりました。ホテル事業について、5月はまだ稼働率の低下が続いたことから、前期から87%の減収となりました。なお、フーズ事業につきましても、ホテル稼働室数の減少や外食店舗の休業に伴い、前期から68%の減収となりました。

この結果、5月のグループ売上高は、単月で71.6億円となり、前期から51%の減収となっております。また、5月までの累計では、前期から49%の減収となっております。

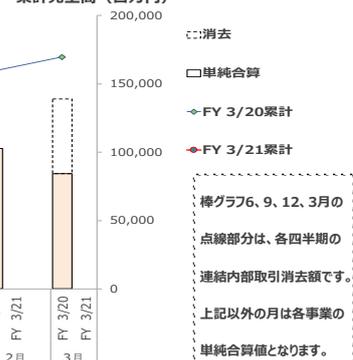
単位：百万円(百万円未満切捨て表示)

	前年同期実績	2020年5月実績(単月)		前年同期実績	2020年5月実績(累計)	
			対前期			対前期
寮事業	4,238	3,923	-314 -7%	8,702	8,056	-645 -7%
学生寮	2,022	1,879	-143 -7%	4,201	3,860	-340 -8%
社員寮	1,397	1,268	-128 -9%	2,856	2,631	-225 -8%
ドミール	427	450	+22 +5%	856	894	+38 +4%
受託寮	390	325	-64 -17%	787	669	-117 -15%
ホテル事業	7,052	896	-6,155 -87%	13,970	2,159	-11,811 -85%
ドリーイン事業	4,172	641	-3,530 -85%	8,334	1,494	-6,840 -82%
リゾート事業	2,833	254	-2,579 -91%	5,543	661	-4,882 -88%
その他	46	0	-45 -100%	92	3	-88 -96%
総合ビルマネジメント事業	1,376	846	-529 -38%	2,445	1,802	-643 -26%
フーズ事業	608	194	-413 -68%	1,219	418	-800 -66%
デベロップメント事業	193	21	-172 -89%	548	88	-459 -84%
不動産流動化事業	-	-	- -	-	-	- -
その他	193	21	-172 -89%	548	88	-459 -84%
その他事業	1,199	1,278	+79 +7%	2,364	2,522	+158 +7%
PKP事業	607	691	+84 +14%	1,195	1,364	+168 +14%
シニアライフ事業	137	131	-6 -5%	273	264	-9 -4%
その他	453	455	+1 +0%	894	894	+0 -0%
合計	14,668	7,160	-7,507 -51%	29,250	15,048	-14,201 -49%

単月売上高(百万円)



累計売上高(百万円)



(注1) ここに表記している当期の計数情報は、監査法人による会計監査受検前のグループ各社の売上高(速報ベース)を単純合計したものであり、連結内部取引消去前ベースです。従って、後日確定する財務数値と差異が生じる可能性があります。

(注2) 上記グラフは、四半期末以外の月の単月売上高は注1に記載の売上高ベースで、各四半期末月の単月売上高は当該四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。なお、累計売上高(折れ線グラフ)につきましては、経過した各四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。